

日立総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究名称（倫理審査番号）	潰瘍性大腸炎治療薬別の導入後効果を検証した後ろ向き試験
当院の研究責任者（所属）	鴨志田 敏郎（副院長）
研究期間	倫理委員会承認日～2025年3月31日
本研究の目的・意義	活動期の潰瘍性大腸炎における緩解導入療法で、各種薬剤の有効性及び安全性を後ろ向きに評価する。
研究方法	●対象となる患者さん 選択基準：2010年1月から2025年3月までの間、活動期にある潰瘍性大腸炎患者で、メサラジン製剤が効果不十分なためステロイド、カロテグラストメチル、チオプリン製剤、顆粒球除去療法、生物学的製剤、ヤヌスキナーゼ阻害薬などによる緩解導入療法を行った患者。除外基準：研究目的に診療情報が利用されることを望まない患者。●方法 単施設後ろ向き観察研究。
試料/情報の他研究機関への提供および提供方法	対象患者の臨床的寛解導入率、内視鏡改善率、内視鏡寛解率、導入後再燃期間等を集計し、当院内で評価する。
個人情報の取り扱い	①本試験で得られた情報は、研究主任施設である日立総合病院で一元的に保存される。②保存されたデータは匿名化された後に、本試験にのみ使用される。③日立総合病院で集計されたデータは5年もしくは論文発表後3年のどちらか遅い方までの期間原則保存する。
本研究の資金源（利益相反）	本試験は研究者が企業とは独立に計画し実施するものである。本試験の研究代表者および試験責任医師、試験分担医師には開示すべき利益相反はない。

お問い合わせ先	責任者：鴨志田 敏郎（副院長） TEL： 0294-23-1111
---------	--------------------------------------